

雜
錄

歐米より見たる日本

文學士 植松 安

私は昨年五月に日本を出まして本年五月に歸つて参りました。たつた僅か一年の旅でありまして、廻りました國は英國に最初参りました。それから白耳義を一寸見まして獨逸へ這入りまして、それから瑞西を通つて伊太利へ参りまして、伊太利から佛蘭西へ出しまして、佛蘭西からもう一遍獨逸へ還りまして、獨逸から和蘭を通つて英吉利へ還りまして、太西洋を渡つて亞米利加を通つて來た次第であります。

唯今の御紹介の御言葉では、歴史其他から見ました研究を發表するといふやうな御話でありましたが、なか／＼たつた一年の旅で、彼方此方を廻りました位で實は研究といふ所ではないのであります。實

際私も出發いたします時には色々抱負を有つて居りました。斯ういふことも見たい、あゝいふことも知りたいたいふ志を抱いて行つたのでありますが、英吉利へ着きまするといふと、是はもう逆も分らぬといふことを第一に感じました。英吉利といふ國だけを知るのに少くとも五年、先づ十年居たらば分るかと思はせられた位でありまして、逆も細かい研究を致しました上から其御話を申上げるといふことは出来ませぬのであります。要するに私は唯今御話しました各國を廻りましたけれども、分りませぬでした。第一分りませぬので悲觀を致しましたのは、英語が分りませぬので閉口を致しました。倫敦へ着きまして色々倫敦人と話をするのでありますが、どうも英語が通じませぬ。洵に御耻かしい話であります。私も不勉強ながら英語も二十五年ばかりやつて居りましたが、英國倫敦へ着きました所が少しも通じませぬ。向ふのいふことも分りませぬ此方のいふことも、どうも通じないやうでありました。と申し上げますのは先づ非常に金が御有りになつて自動車か何か自用車で始終行く先に御出になる方は宜しうございませうが、私のやうな貧乏學生はさういふ譯に参りませぬから、倫敦の町の方では往來の上を走つて居る電車はありませぬで、地下鐵道の電車か乗合自動車に乗つて諸方へ行かなければならぬのであります。それが均一でありませぬから、行く先で日本のやうに往復十五錢なら十五錢黙つて出せば切符を呉れるならば宜しいのでありますけれども、或は亞米利加でも十錢なり十五錢なり出せば宜しいが、倫敦の方は均一でない爲に行く先をいはなければならぬ。私は大學の圖書館に行きます爲に、あそこ

のブリチツシユミユージアムに毎日参りましたが、ブリチツシユミユージアムといふのは英國の一番大きな博物館に圖書館の附屬して居ります所で、其處へ行きますのにブリチツシユミユージアムといふステーションがあるのでありますが、ブリチツシユミユージアムだけは終に一週も間違つたことはありません。ところが外の所、知らない所に自分が行かうと思ひまして、扱地下鐵道の入口へ行つて切符を買はうと思つて行く先をいひますと、どうも通じない。好い加減な切符を呉れたり聽直されたりなかくむづかしい。御承知でございませうが、ピカデリーと申します倫敦の真中で非常に賑かな芝居や活動寫真など色々あります所がございませう。夜仕事を終へましてから散歩なりぶらつきに行かうと思ひまして、自分の家から出まして、ピカデリーまでの切符を下さい、ピカデリーブリーズといへば宜いのですが、それが通じない。最もピカデリーといふことが巧い人がありまして、其人にくつ付いて行く時は間違はない。それからオックスフォードサーカスといふ、此處は支那飯屋がありまして、吾々の行くに都合の宜い所であります。此處へ行くのにオックスフォードサーカスといふのがなかくむづかしい。尤も西洋人が日光のことをネコと發音するさうであります。最も間違ひしさうな發音であります。西洋人が上野のステーションに來まして、改札口に大概女の若い人が居る。あの人に向つてネコを下さいといつて、日光のこと、察して呉れる人は餘程えらい人でありまして、それと同じやうに英國人は一休察しが悪いといふことを申しますが、私のピカデリーとか、私のオックスフォードサーカスといふのを

うまく察して呉れるのは五遍に三遍位とは行かない、五遍に一遍位しか通じませぬ。さういふやうな有様でありまして、倫敦に三箇月居りましたが、どうもなか／＼分りませぬ。自分の調べたい知りたいことも、あちらへ行つて斯ういふことを聴いて見ようぞ字引を引いて考へて居りました所を、向ふの人に逢ひまして出来るだけの力でペラ／＼とやつて聴くと、其次に向ふからペラ／＼と來るので分らなくなる。其向ふの人の言つたことをもう一度聴けば宜しいが、今日は斯ういつたやうだ、翌日……翌日といつても逢へませぬから手紙を書いて又逢ひたい日を決めて逢つて見る、それで又分りませぬので結局分りませぬ。英語に於て斯の如くでありましたから外の言葉では逆も私の語學力では聴きたいこと、見たいこと、知りたいことも間違つたことは無論許して戴かなければなりませぬ。十分なことはどうしても分りませぬでした。さういふやうなことで話を聴いて來ました。併し讀んだことは大概間違ひない積りであります。是は讀めなくても字引を佐々引きまして、さうして讀めば大概間違ひなく意味が取れるだらうと思ひます。耳で聴きましたことで間違ひましたことは是は當然と自分は確信して居ります。それから見たことであります、見たのだから間違ひないだらうと思つて居りますと、後から見たことが違つて居ることに氣が付いたことがありました。視察を致しましたことも間違ひがあるといふことは御許しを戴かなければなりませぬ。或何か大きな建物へ參りまして、それがさうだといふことを教はつて行つて、それから日々一週間なり十日なり通つて居りまして、立派な入口でありますからそれが正門と思ひまし

たが、通つて居る中に何かの機會でもツとすつと立派な門が脇にあつてそれが正門であつたといふことに氣が付きました。私は或家庭に這入つて下宿を致しましたが其家庭で毎日果物を食事毎に呉れます。其果物が煮てないものがないのです。必ず煮たものを出します。私の子供にどうも腸の宜くない者が居ります。そこで英吉利の下宿では果物を煮て喰べさせるといふことが非常に宜いやうに感じたのであります。早速家内に英吉利から手紙を書きました。外國では生の果物を決して喰はせぬ、必ず煮たものを喰はせるから、家の子供達にも果物は火を入れたものを喰べさせるが宜いと。それから段々經ちまして、方々で幾らでも生の果物を喰べる、倫敦でも立派な料理屋へ行つて高い金を出せば生の果物を喰はせる、殊に亞米利加の如きは立派な果物を澤山生で喰べる、段々考へて見ますといふと、私の如き貧弱な金で貧弱な宿に居ります者は、英吉利といふ國其外の國でも果物が澤山出來ませぬから色々な果物が外國から來る。植民地から果物を取寄せる、林檎の古いのなどが來る。そこで煮て喰はすといふ譯であつたのでありまして、さういふやうな譯で、感じたこと、見たこと、聞いたこと皆間違ひ、皆間違ひがありはしないかといふ疑ひを始終感ずることになりまして、何を御話して宜いのか御話することが無くなつてしまつたのであります。けれども有益な洋行談、有益なあちらの外國の御話といふことは、もう澤山御聞及びでございませうから、私は餘り有益でないごちらかと申しますれば無益に屬するやうな御話で、自分の感じたこと、見たこと、聞いたこと、讀んだことを綜合いたしました御話を申上げて見たいと思

ひます。

先程申上げました國々を極短い間に廻りました上から考へて見ますといふと、私の頭を最も引付けたものは矢張り私の經驗上英吉利でありました。英吉利人といふ者は、先輩の方々から御話も色々伺ひましたし、御書きになつた書物も多少は讀んだ積りでありますし、又英吉利人其人の書いたものも少しは讀みましたのでございますが、大体に於て英吉利といふ國、英吉利といふ國民は、何だか斯う奥底の深い國民であるといふやうな感じを懷きましたのであります。其中私の心を引きましたものは英國の皇室と英國の國民との關係でありました。英國の國民と申しましても私の實際に見まして實際に感じましたことは倫敦市民であります。倫敦市民と英國皇室との關係、一口に申しますれば如何にも仲が好い、といふと甚だ言葉が悪いか知れませぬが、如何にも打解けて居る、如何にも分け隔てがない、分け隔てがないといふ言葉も悪いか知れませぬが、愉快にやつて居られるやうな感じが致しました。私は倫敦へ着きましたから四五日目でありました、ヅイクトリアステーションといふのに一寸用がありまして出掛けました。何だか人だかりがして居りましたから、其處に居ります巡査に何ですかと聞きました所が、今キングとクインが何處とかから還られる所だと斯ういひましたから、それぢやアア好い機會であるから兩陛下を拜しようと思つて横の方に立つて居りました。さうすると鹵簿がステーションから出ます其前まで車も人も歩いて居りましたが、一寸極二三分前位であつたと思ひますが、巡査が立つて斯う手を上げますといふと、

綺麗に皆避けてしまふ。聽て雨陛下が御出になりました。私は何の氣無しに立つて居りましたが、私の隣に十歳か十一歳位の女の子が拜觀をして居りましたが、丁度キングとクインの馬車が私の前に御出になりますと、此子供が駈けて行きました。此方は人道の所に立つて居る、御馬車は車道であります。ハンケチを振つて萬歳と云つて御馬車の直ぐ側まで行きました。さうするとキングもクインも一寸禮をなすつて、御言葉はないのでありますが、如何にも有難うといふやうな表情をなさつたやうに私は感じました。それが着いて四五日目であります。私の心を非常に引いた一つであります。それから二度目に英吉利に参りました時に、是は實際を私は見たのではありませぬ、活動寫真で見ました。是はこちらでもさうか知れませぬ。私はこちらでは活動寫真を餘り見ませぬが、倫敦では活動寫真ばかり見て居りました。と申しますのは活動寫真が一番樂なのであります。芝居へも参りましたが、芝居に行きますと、兎に角英語を喋つて居りますから、分らないと口惜くて一生懸命に注意して何とかして分りたいといふ氣で、まるで學校の生徒が先生の前に立つたやうに一生懸命になります。二時間も見て、見て居るか聽いて居るかしますと、もうへト／＼になつてしまふ。それで活動へ戀みに始終参りました。活動といふのはこちらのやうに辯士といふ者がありませぬから、字で出ます。次のことが字で出ますから、字は讀むと大概分る。私の下宿をして居りました家に娘が居ります。二十一の娘であります。之に夜眠な時に活動と一緒に貰つたり附いて行つたりしました。あちらでも昔の芝居でクラシックの活動を

やります。シエクスピアー時代のザウとかザイとかいふ言葉が出来ます。私が見て居りますと平氣で見
て居りますが、私の家の娘にはむづかしいのです。それが出るとむづかしいといふのです。私等
は能く讀むといふのではないが、娘よりは能く讀めるといふ譯で、讀むことは比較的樂でありますから、
活動ばかり見て居りました。倫敦では一週間の倫敦中の出來事を活動寫真で其状態を見せますのであり
ます。それを必ずやります。それを見て居りますと、倫敦中何處へ出掛けませぬでも大概分りますから、
其活動寫真を見たのでありますが、二度目に私が英吉利へ參りました時に、皇后様が貧民窟を訪問をな
されたことがあります。御承知の通り倫敦の巡查といふのは非常に大きな者で山口さんならば倫敦の巡
査に匹敵するだらうと思ひますが、山口さん位のが普通でもう少し大きい巡查が居る。其大きな巡查が
一生懸命で手で制して居るのでありますが、イーストエンドといふ所の貧民窟へ御出になつた時に、貧
民が皇后様の自動車に押掛けて來て、陛下の自動車が動かない。其動かないといふことが英國の自慢ら
しく見えました。活動寫真で見ますと山口さんのやうな大きい巡查が無論怒りはしませぬ、劍も下げ
て居らず一生懸命に制して居るが、萬歳々々で皇后様の自動車に押掛けてハンケチを振らなければ氣が
濟まないやうに私には見えませんでした。是等二つの例を見まして、如何にも何だか英國の市民と皇室との關
係が圓滿であり圓く治まつて居るやうに思ひました。日本に歸りましてから巡查が長い劍をぶら下げて
居るのが目に付きました。あの位の長い劍を下げまして何か悪い事をすれば斬るぞ、殺すぞといふことを

示して居らなければ、また治まつて行かないのかと思つた時に、甚だ心苦しく感じた次第であります、私の廻りました國で巡査が劍をぶら下げて居りました國は獨逸だけであります。獨逸は兵隊を減らされました結果、巡査が兵隊と同じやうに劍を下げて居る。尤も小さい歩兵の下げるやうな劍であります、歸りまして翌日直ぐに大學へ參りますので本郷三丁目の所で電車乗換を致しましたが、あそこで驚きました。小さい短劍を下げました巡査が五人掛りで交通整理をして居りました。英吉利の大概込む所、本郷三丁目よりはすつと込む所でも交通整理の巡査は一人で行くのであります。巡査が斯う手を上げれば通る此方を向いて上げれば止る。五人掛りでピリピリ——進めつといふやうなことを言つて居るのは、亞米利加ではやつて居りますが、亞米利加ではもつと込みますし、もつと設備をして居りましたが、倫敦は洵に氣持好く巧く交通整理が行つて居りました。丁度私が佛蘭西に居りました時に佛蘭西の警視廳から英吉利の交通整理が甚だうまく行つて居るといふので、佛蘭西の巡査を倫敦へ派遣しまして、交通整理の見學をさせるといふことをやりました、ところが行つて見ると巡査が此方を向くか手を上げるだけで何も無い。學ぶ所一も無い。其結果を齎らして歸つて參りました。何故さうしてそれが巧く行くかといふと、歩く人、車、運轉手といふものが良いので巡査の交通整理の方法が宜いのではない。佛蘭西ですら斯の如き有様でありますといふことを知りまして、日本はまだくなく大變なことであるといふことを感じた次第であります。

英吉利の人は、私は中學校の先生の方からでしたか英語の時間に習ひまして、英吉利に行くといふと、足を踏むと、踏んだ方からあやまるのでなく踏まれた方からあやまるといふことを曾て聞いたことがあります。まさか人に踏まれてあやまる人はなからうと思つて居りましたが、是も案外でありました。オックフォールドストリートといふ餘程賑かな通りで乗合自動車に乗らうとして、私は兎に角乗合自動車に慣れて居りませぬから多少慌て居たのでありませう。乗合自動車に乗らうとして全く氣が付かずに何處かの女の子の足を踏んだ。ところが向ふからアイアムソリー御免なさいと云はれた。さうなる此方もあやまりたくなるのですが出なくなるのです。其經驗が實際あつたのです、向ふでアイアムソリーといつて居りますから、何といつて宜いのか下手な英語で直ぐ言葉が出ませぬです。其様なことが實際ありました。

それからブリチッシュユニヴァーシティーの側で或日晝頃でありました、御飯を喰べに出ました時に、一人出ましたのですが、一人で歩いて居りますと向ふらかお婆さんが來ました。餘り立派な風をして居ませぬ、餘り穢ない風でもありませぬでしたが、中の下位の服装をして居りました。それが私の側へ來まして、私をすつと見るのです。此方は喫驚しましたな、何だらうと思ひますと向ふが立止つて顔を見ますから私も立止つた。すつと目を見ましてお前は日本人だらうといふからイエースとやつた。自分は日本人と支那人の區別が出来るといふ。何が始まるのだから頗る此方は不安心であつた。西洋へ行くと妙な拘摸

が居たりピストルを向けられたりするといふ話を聞いて居りますから、何だらうと頗る用心をしながら少し逃腰で私はそろ／＼歩きまして、通り過ぎまして二三歩此方へ行きますと、突然ハンケチを出しまして萬歳といひました。何だか氣味が悪いが怖い物見たさにお婆さんを見ると、お前の國は實にワンダフルビューブルである、驚くべき國民である。何だか怖々逃腰半分に聽いて居りました。此方は一言も出ませぬで聽いて居りますと、五十年の期間、半世紀間を以てお前の國くらの驚くべき進歩をした國は歴史にない、それで自分は日本人に逢ふたびに萬歳を唱へるのだといふ、さういふ奇抜なお婆さんに逢ひました。或は日本最良の人かも知れませぬ。自分は支那人と日本人との違ひは目で分る、斯ういふことを附加へていつて居りました。此方はそれから先き何が始まるか分りませぬから、サンキュといつてグッバイでどん／＼分れてしまひました。まアそんなやうなことがありまして、向ふの國の或人は日本を其位に思つて居る人もあるといふほんの一例になるかと思ひます。

それから歸りに亞米利加から乗りました船の中で、此人は日本のことを英語で書いた日本の教科書を讀んで居りまして、ラファヂオハーン先生、小泉八雲先生の本などを讀んだといふスコットランドの女の人であります、之がプリンスオプウェールズ英國皇太子が俵を引いて御覽になつたさうだといふことを話しました所が、自分も是非俵が見たいが、日本に行けばまだ人力車があるか、俵を引いて居る者があるかといふことを聞きました。此時にも頗る閉口を致しました。あちらでは人間が俵を引くといふ

ことはありませぬ。日本では俾を引いて居る。自分は俾が見たいといふ話を聴きました時には甚だ妙な感じが致しました。日本は或方面に於ては買収られて居りはしないかといふことを其時に感じたのであります。

それから獨逸 伊太利などは抜きまして、亞米利加の御話を致しますが、私がシカゴへ参りました時が丁度英國皇太子殿下が日本を御訪問になつた時でありました。其事をシカゴのトリビニーンといふ新聞に書いて居りましたことを切抜いて参りましたから、一寸御話を致します。斯ういふ題で書いて居りました。帝國主義の光明と暗黒——皇帝を戴いて居る國さういふ意味で皇帝がある國の光明と暗黒

——といふ題で、英國皇太子殿下の訪問は日本で頗る歓迎を受けた。横濱では二十二隻の艦隊から殷々たる禮砲が發せられ、四萬の小學生徒即ち軍人の卵は埠頭から停車場まで街路に堵列をした。東京には今、帝の攝政で若き皇太子殿下が待受けられた。日本の皇太子殿下と共に日本の各宮殿下や朝鮮皇帝の王子も居た。日本に併合された朝鮮の人形との謁見は冷淡に行はれた。彼の奪はれたる國土は日英同盟の最初の果實である結果である。東京の町には軍人の卵——小學校生徒——は一人も見えなかつた。完全な兵士、大東京衛戍隊の半分の者が居た。完全な兵士が居たといふのは卵でなく本物の兵士が居た。又四千の巡查は警戒の爲に配置された。皇后陛下が待受けられて居る皇居に英國皇太子殿下が御出になる道々、其行列の通過する際民衆は歡呼し無數の英國々旗が打振られた。群集の中に朝鮮

人は全く居ない、又印度人も居なかつた。東京在住の印度人は巡査から英國皇太子の滞在中監獄に行くか其各自の家に居るやうに命令された。印度人は出さなかつた。光明と暗黒、帝國主義、イエスかノーかど書いてあるのです。王子だとか、王だとか、又は皇帝だとか、如何に強く如何に賢く教化されてもそれは何等重要なものではない。國家の意志に對してそれを統治するに適したプリンスといふ者があるものではない。是だけ書いてあつた。之を讀みまして尙更感したのであります。亞米利加といふ國は鬼に角天子様は嫌ひのやうであります。天子様が何だか厭なやうですね、王に統治されるといふことがどうも厭らしい。私は巴里で歩いて居る時に、全く是は知りませぬでしたが、亞米利加の華盛頓の銅像が一つある。是は丁度歴史家の方に逢ひましたから、亞米利加の華盛頓の銅像が巴里の眞中に立つて居るといふのはどういふ譯ですと聞いた所が、佛蘭西の革命に華盛頓が同情を寄せて助けたので、之を佛蘭西人が喜んで銅像を立て、居るのだといふことを聽きました。

それから段々考へて見まして、現在の支那と亞米利加との關係が何だか頗る薄氣味が悪いが、もつと考へて見ますと恐しいやうに感するのであります。最近支那は皇帝を追出したやうな形になつて居ります。それで私が亞米利加に居ります中に亞米利加人と支那人との仲の宜さを度々感じましたのであります。先づ第一は食物であります。亞米利加の相當の町へ参りまして支那料理屋の無い所は先づないといつて宜いだらうと思ひます。亞米利加人が喜んで支那食を喰べます。日本料理といふものは逆も是は世界的

になりさうもありません。支那料理は世界的でありませう、倫敦、巴里、伯林、何處でも私の行きまし
た所には支那料理屋がありました。食物の上から考へても其感じが致しますし、私の専門と申します
か本當に分るだけ分つて調べて參りました書物、圖書館といふものからいひましても、亞米利加のコン
グレスライブラリー、議院附屬圖書館で支那の本を買つて居る買方といふものは非常なものであります。
亞米利加のライブラリーオブコングレスの館員で現在の支那語を解する者を、廣東に圖書館を造つて圖
書館長に致しまして、そこで年々莫大の金を與へて支那の書物をどん／＼買込みつゝあります。華盛頓の
方では支那人で亞米利加の大學を卒業した者、それを五人使ひまして支那の書物を買込んで居ります。
私の友人の木村泰賢といふ人に倫敦で逢ひましたが、是は佛教の研究で倫敦で研究して歸りに印度に
寄る積りで居りましたが、印度は止しまして歸りましたが、それでも立派な佛教研究が出来て居ります。
私が倫敦のライブラリーを見ました時に、幾ら印度が騒いでも駄目だなと感じました。行きに船の中で
印度の志士が英國に對して大變憤慨して居りましたけれども、此文書を印度から持つて來てしまひ、非
常に大きな研究をして印度のリテラツルを全部自分の國に收めて居るやうに考へました。それを私が
今御話しました支那に對して亞米利加がやつて居るのではないか、日本の支那研究者が亞米利加に行か
なければ支那の研究が出来ない、儒教の研究が出来ないといふ時が來るかと思ひます。日本は支那の古
いことに就ては詳しくなつて居ります。支那の漢文と申します漢時代からの古いことには詳しいやうで

ありますが、現代の支那に對しては或は亞米利加の方が近い將來に於て優りはせぬかといふ考を以て歸りました。

段々方々を廻りまして要するに怖い事ばかり見まして、益々奮起しなければならぬ、奮起といふか用心しなければならぬといふことを感じました。伯林に居りました時に澤山留學生の人や吾々のやうな連中が集りまして、ビールを飲みながら話をしたのでありますが、やア方々廻つて見たが何處の國を見てもどうも日本はいかな、何處を見ても第一等國といふ所は分らぬぢやないか、何處が一等國なのか、白耳義や和蘭のやうな貧弱な國を見てもどうも日本がいかな、何が日本は頼む所か、何が宜いか、斯うやつて外國を廻つて見ると、どうも戦争、軍人より仕様がなではないか、丁度それが軍縮の決つた時であります。是で軍縮になつたら日本はどうなるだらうといふことを話したことがあります。軍縮といふことは是は仕方がありますまいが、其時にも日本はごんごん人口は殖ゆるし國は小さいし其喰ひをしなければならぬやうな形になりはしないか、日本中で作る米が日本人の需用に足りない、日本人が喰ふだけの米が無いのだといふことであるから、どうかして戦争して掠奪をして甘い所を取るより外仕方がない。英吉利のスコットランドの方を旅行しますと、田舎道の往來に、ごろん／＼石炭が掘らなくても轉がつて居ります。丁度日本で山の中に薪を取りに行けば宜いといふやうになつて居る所がありました。或方の話を聽きますと、日本で出る石油の一年の總額が亞米利加では一日に出るさうであります。さう

いふ譯で迎もいかぬといふやうなことを聞いたことがあります。

一番最後に桑港から船に乗る時にあそこで少し遊んで居りました。私の友人がホテルに飯を喰ひに伴れて行きました。東京には迎もないやうな立派な大理石がごん／＼立つて居るやうなホテルでありませんが、歸りに幾ら拂ふかと思ふと、一人前五十仙、高いだらうといふから本當に驚きました。實際カリフォルニアといふ所は物資が豊かで生活が容易で樂に生活がして行ける所らしいございました。そこで私が感じましたことは、今まで古典で日本書紀といふやうなものを讀んだ上から、日本は豊葦原の瑞穂の國といふことを讀んで居りましたのでありますが、私がたつた一人やりました結論と致しましては、此豊葦原の瑞穂の國といふことを將來やめることに致します。是で時間も切迫いたしますから失禮いたします。

發 臺 北

東 嶺 持 地 六 三 郎

竹杖芒鞋出府城。

回顧前路曉雲橫。

莫嫌屐脚攀躋苦。

欲訪征蕃事業成。